

# 公明ひらつか



サステイナブルシティ「ひらつか」へ取組の加速を  
永田 美典 議員

## 行財政改革に関する取組

**問** 行財政改革計画の平成30年度の取り組み結果が出た。進捗への認識を伺う。

**市長** 計画にある27事業を進めるに当たり47の活動を設定した。そのうち42の活動は計画どおり進めることができた。おおむね順調に進んだと評価している。

**問** 未利用地等資産活用事業は進捗が遅れがあった。未利用地の情報提供の手法を伺う。

**市長** 未利用地を一般競争入札で売却する場合、参加資格など必要事項の公告を行い、ホームページやパンフレットなどで周知する。

**問** 精度の高い財務諸表を作成し、利用効率や資産価値などを含めた不動産として評価を行って売却などを検討するべきではないか。

**市長** 行政目的での利用が見込まず、特に課題がない土地などは不動産鑑定などで適正な評価をして売却などしている。今後は財務諸表に基づく資産価値なども判断材料として考慮する。

**問** SDGsの持続可能な17の開発目標を、総合計画の施策にどのように反映させるのか。

**市長** 今年度行う総合計画

の中間見直しで、具体的な個別施策単位に対してSDGsとのつながりが示されるよう議論を進めている。

**問** 公共施設評価の目的や背景、公表時期を伺う。

**市長** 現在、公共施設再編計画に基づき公共施設評価を行っている。施設を定量的、定性的に評価することにより、各施設の再編の必要性を可視化し、方向性を考えるための基礎資料として活用する。結果は今年度中に公表する予定である。

**問** 学校給食費の公会計化で見込まれる効果と導入の目標時期を伺う。

**市長** 効果として、教職員の負担軽減や会計事務の透明性向上、徴収の公平性確保などがある。令和3年度の導入を目指している。

## 防災・減災の取組

**問** 5月に浸水対策第2次実施計画を策定した。被害軽減のための戦略を伺う。

**市長** 管渠整備や浸透施設など各地区の特性に合わせて整備を行う。新たな取り組みとして、既存の調整池を活用することで、調整池を下流への雨水流出抑制策を実施し、浸水被害の軽減を計画的に進めていく。

**問** 河内川ほどの程度の降雨に対応できるか。また、

流下能力不足区間はどこを指すのか。

**市長** おおむね年間雨量30ミリの降雨対応となっている。県の水防計画では、右岸側は万年橋から旭南公民館付近までの340メートル、左岸側は万年橋から金目川との合流点までの1280メートルが流下能力不足の区間と示されている。

**問** 住民避難を促す避難勧告が行われる流れを伺う。

**市長** 大雨では特に河川水位は重要であり、水位の段階に応じて体制を整え、必要な段階で避難勧告などを発令する。住民が適切なタイミングで避難行動をとれるよう情報配信している。

## 平塚市地域福祉リーディングプラン

**問** 就労準備支援事業に対する考え方を伺う。

**市長** 県内他市を参考に事



医療費適正化へ向けて  
秋澤 雅久 議員

## 糖尿病重症化予防

**問** 人工透析は費用が高額で、医療費全体から見ても課題となっている。その大きな要因となっている糖尿病については、本市における重症化予防の取り組みと現状を伺う。

**健康・子ども部長** 平成28年度から、糖尿病重症化の予防を目的とする集団指導教室として「糖尿病研究室」を開催している。「こ

こほ特定健診」の受診結果から教室の対象者を抽出し、保健師の家庭訪問により参加勧奨を行っている。昨年度の状況は、対象者数330人のうち、訪問で保

健指導した人が222人で約66%、教室参加予定の人が34人で約10%である。

**問** 特定健診を受けていない人の中で、過去に糖尿病

業の実施を検討している。この事業は、一般就労に従事する準備として、規則正しい生活習慣の形成やパソコン操作の習得などを図るもので、自己肯定感や就労意欲を高め、就労支援につながるものと考えている。

## 通学路の防犯対策

**問** 農地に隣接する農道や市道へ防犯街路灯を設置することへの考え方を伺う。

**教育長** 防犯街路灯は自治会などから設置の要望を受

け、基準に基づき設置の可否を判断している。基準に農道と市道の区別はなく、設置できると判断した場合

は、住民などの合意形成を自治会長に依頼している。

**問** 稲の成熟に影響が出ないよう光害に配慮した「光害防止LED防犯街路灯」を提案するが見解を伺う。

**教育長** 耕作者に農作物への影響を説明し、同意を得ることが設置の条件となる。また、費用面での課題もあると認識している。

## がん検診受診率向上

**問** がん検診の個別受診勧奨や、未受診者への再度の受診勧奨は行っているか。

**健康・子ども部長** 個別受診勧奨として、毎年4月に



誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して  
石田 美雪 議員

## ユニバーサルデザインの街づくり

**問** 人工肛門や人工膀胱を保有するオストメイトに対応したトイレが近隣市に比べて少ない。民間施設を含め、設置の考え方を伺う。

**福祉部長** 本市独自の基準は設けていないが、法律や県の条例を運用している。設置義務の対象とならない建物も、条例に基づく事前協議が必要な場合は指導や助言を行っており、引き続き設置を促していく。

**問** バリアフリー情報などが簡単に一目で分かるユニバーサルデザインマップが必要と思うが見解を伺う。

**交通政策担当部長** 本市には「ひらつかわくわくマップ」や観光マップもある。どの部署が主体的に進める

全対象世帯に受診案内を送付している。未受診者への再度の受診勧奨は、通知する時期や費用などの課題があるため、効果について今後検証していきたい。

**問** 受診者の利便性を高めるため、特定健診とがん検診を同時に受診できないか。

**健康・子ども部長** 本市が実施するがん集団検診の場で特定健診の受診ができれば同時受診が可能となるが、現在のところ、出張による集団特定健診を受託してもらえない医療機関がないため実施は困難な状況である。今後、医師会や医療機関と連携し、同時受診が可能となる医療機関を増やしていきたい。

## このほかの質問

**持続可能なまちづくりについて**

かも含めて話をしたい。

## すべての子どもの安心と希望の実現を

**問** 国は、地域と学校、保護者が協働し子供たちの成長を支える地域学校協働活動を推進している。本市はどのように展開するのか。

**社会教育部長** 本市では、中学校区ごとに設置されている地域教育ネットワーク

の民間独自の取り組みには補助金により活動を推進している。今後も情報共有を図りながら進めていく。

## 会議録は11月下旬に公開

9月定例会の会議録は11月下旬から公開します。市役所本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナー、各地区の公民館、各図書館でご覧ください。市議会ホームページでもご覧いただけます。

公明ひらつか  
所属議員



上野 仁志 議員



鈴木 晴男 議員